

鈴鹿安全運転講習 2009

鈴鹿サーキットを走り、安全運転を学ぶ

11月17日～21日の5日間、1年生を対象に三重県鈴鹿市「鈴鹿サーキット交通教育センター」で安全運転講習を実施しました。

鈴鹿安全運転講習はインストラクターの指導のもと、実技や学科授業を通して二輪・四輪の安全運転に対する技術と知識を養います。

国際レースが行われるレーシングコースで高速運転講習を行い100km/h以上の高速運転を体験しました。また、今回の講習を修了することで安全運転の指導ができる資格「ホンダ・セーフティコーディネーター」の取得ができるのも、この鈴鹿安全運転講習の大きな魅力です。

講習を終えた学生からは「安全運転に対する意識や心構

えが良く分かった」「レーシングコースを自分で運転できたことは一生の思い出」などの意見が聞かれました。

安全運転講習を通して安全運転に対する知識や技術の習得だけでなく、自動車業界を支える一員として「プロの意識」も磨かれました。



鈴鹿サーキットをバイクで走行



鈴鹿サーキットのコース内にて



開校式で教育センター所長から訓示をいただく



インストラクターの指導のもと実技を学ぶ



鈴鹿サーキットを走行するのは貴重な経験



濡れた路面での車の制御方法を体験



バイクの運転技術を学ぶバイロンスラローム

海外研修旅行 inアメリカ

異文化交流を通して、人間的な幅と視野を広げる!!

自動車整備科2年生と一級自動車整備研究科4年生は、11月上旬海外研修旅行を実施しました。出発前に心配していた新型インフルエンザの発症もなく全員が参加することができました。

この海外研修旅行は、異文化交流を通じて、人間的な幅と視野を広げてもらうことが目的です。

アメリカ・ホンダの訪問では、アメリカ自動車市場とホンダのビジネスを学ぶと共に、今回初めての試みであるグループディスカッションを実施し、現地の日本人駐在員やアメリカ・ホンダの職員の方々と交流を図りました。

オプションツアーでは、オフロードバギーの体験や

カーミュージアムの見学、さらには本場のディズニーランドやユニバーサルスタジオを体験しました。

また、一級自動車整備研究科はこの海外研修旅行を実施するにあたって、春先からオプションツアーの企画を行い、研修プランづくりを進めてきました。

こうして決定した研修プランはバラエティに富んだもので、世界最大規模の自動車ドレスアップショー「SEMA Show」の見学やホンダの米国法人であるアメリカ・ホンダでの研修、サンフランシスコの街を自由に行動し、気になるものを撮影するフォトラリーなど充実した海外研修旅行となりました。



初の試み、アメリカホンダでのグループディスカッション



「ウェルカム ホンダ学園」の垂れ幕(アメリカホンダ)



アメリカホンダで「アメリカ自動車市場とホンダのビジネス」を学ぶ



バームスプリング砂漠でのバギー体験



電動立ち乗り二輪車「セグウェイ」で市内観光

就職活動が本格的にスタート! 「ホンダ学園賛助会 企業セミナー」開催!

12月17日(木)、自動車整備科1年生、一級自動車整備研究科3年生、自動車研究開発科2年生の来年度卒業見込みの学生を対象にホンダ学園賛助会企業セミナーを開催しました。

この企業セミナーは、ディーラー、開発・製造系企業など全国から60社以上の企業の方々が集まり、学生向けに企業説明や「求める人物像」などを実施していただく一大イベントで、就職活動のスタートを告げます。

学生たちは、希望する企業のブースで熱心に話を聴いたり、質問をしながら企業研究に励みました。

厳しい就職戦線ですが、志望する内定獲得に向かっていきます。

企業セミナーには60社以上の企業が集まります



はじめてのセミナーに緊張しながらも一生懸命質問します



企業様の説明を熱心に聴く学生

年末の風物詩「寮行事 もちつき大会」

●学生レポート / 寮生 中村明博 くん

12月19日、年末の風物詩となる「寮行事 餅つき大会」をくみの木寮、狭山寮合同で開催しました。

当日はこの冬一番の冷え込みとなったため、会場を屋外から寮のロビーへ移しての実施となりました。早朝で自由参加にも関わらず、餅つき大会にはたくさんの寮生が集まり交代で餅をつきました。

つきあがった餅は、きなこ餅、あんこ餅、おろしポン酢餅、お雑煮にして、みんなでおいしくいただきました。

餅つき大会を通じて学生同士で交流を深め昔ながらの日本文化を体験しました。



ねばりが出るまで皆で順番に餅をついていきます



自分たちでついた餅の味を楽しむ

学園祭売上金を寄付 大阪狭山市市長から感謝状

村上校長と一級自動車整備研究科3年生で学園祭実行委員長の園田くんは11月2日(月)、大阪狭山市市役所を訪れ、吉田市長に学園祭の売上金を寄付しました。

この寄付活動は数年前から毎年行っているもので、寄付金は大阪狭山市の福祉活動に利用されます。

学園祭の売上金 124,915 円を学生を代表し園田くんが吉田市長へ手渡し、感謝状をいただきました。



吉田市長から感謝状をいただく園田くん

子供たちとの交流を深める 小学校 創立イベントに参加

12月5日、本校は大阪狭山市立第七小学校で催された「創立20周年イベント」に参加しました。

第七小学校は本校と敷地が隣接し、子供たちが毎年本校の学園祭に参加するなど、とても交流の深い小学校です。

このイベントは、その第七小学校が学校創立20周年の記念に「人とのつながり」を深める機会をつくろうとPTAと企画。地域の方や保護者に呼びかけを行い、子供たちをはじめ多数の方が参加しました。

当日は、地域の方が考えた楽しい模擬店や警察署によるパトカーのデモンストレーション、吹奏楽の演奏などで賑わいました。

本校もクイズやカートとの記念撮影ができるブースを設け、クルマを通して子供たちとの交流を深めました。



カートと記念撮影できるブース



かわいいカートとの記念撮影に嬉しそうなお子たち

新任の挨拶



自動車整備科
小池 努

1月1日付で、ホンダ鈴鹿製作所品質管理室サービスセンターより配属になりました小池です。当校の5期卒業生です。

卒業後の約22年間、同じ職場で働いてきましたが、組織の変更などもあり様々な業務を経験してきました。中でも長く関わったのが部品関連の業務で、パーツ関係でわからない事があれば気軽に声をかけてください。みなさんが楽しく安全に授業ができるようサポートしていきたいと思いますので、よろしくお願いたします。